

「減価償却応援 機能アップ版 Ver.6.0」 概要

「減価償却応援 Ver.6.0」で対応された内容についてご案内いたします。

1. プログラムについて

データ移行対象バージョン・・・Ver.5.0、5.1

■ スタンドアロン版／ネットワーク版 Ver.5.0、5.1をお使いのお客様

データ移行が可能です。

■ スタンドアロン版 Ver.3.5、4.0／ネットワーク版 Ver.3.1、3.2、3.3、4.0をお使いのお客様

今回のバージョンアップ商品がデータ移行（継続使用）をしていただく最後の機会とさせていただきます。

今回の改版CD-ROMに添付されておりますVer.5.1をセットアップし、Ver.5.1へのデータ変換後、Ver.6.0をご使用ください。

■ 上記以外のバージョンをお使いのお客様

現在お使いのデータは移行できませんので、新規に入力してお使いください。

※お使いのプログラムのバージョンをご確認ください。

【法人税顧問をご利用されているお客様へ】

バージョンアップのCD-ROMには、減価償却応援Ver.6.0から法人税顧問へ連動するための、法人税顧問の更新用プログラム（H16用／H17用）が収録されています。

<法人税顧問 Ver.H16.1/H16.2と連動する場合>

法人税 H16 連動プログラム更新用 をセットアップしてください。

<法人税顧問 Ver.H17.1と連動する場合>

法人税 H17 連動プログラム更新用 をセットアップしてください。

2. 主な機能アップ内容

● 月次償却処理の対応

月単位の償却額を資産データに保有することができるようになりました。

新規に月次償却額チェックリストを追加し、月ごとの償却額を確認することができます。

固定資産台帳及び仕訳資料を任意の期間指定ができるように対応しました。

中間申告までの月次償却額を確定させる機能を追加しました。

● 遊休設定対応

月次償却処理の対応により、月単位での遊休設定ができるように対応します。また遊休資産の検索も可能になります。[管理帳票]メニューに、遊休資産一覧表を新規追加しました。

● 減損会計の対応

減損損失が計上された後の管理が行えるように対応しました。減損損失により帳簿価額が減額された場合、税務上と会計上で帳簿価額、減価償却費に差異が生じますが、それらの管理ができるように対応しました。なお、システムでは、資産のグルーピング、減損額の自動配賦、一括償却資産・リース資産の減損処理、減損損失額の仕訳資料作成には対応しません。

資産ごとに減損額を一度に設定・取込ができるよう減損 CSV ファイル出力、取込に対応しました。

新規に減損損失額チェックリスト、当期減損資産一覧表を追加しました。

また、台帳チェックリストおよび固定資産台帳に減損損失額を出力するように対応しました。

償却予定額一覧表の予定償却額を、会計上の減価償却設定値を基に算出します。

● 別表十六の様式変更に伴う対応

時価評価等が行われた場合の減価償却制度改正に伴い、平成16年度改正以降の別表十六(一)(二)(五)(六)の様式変更に対応しました。

会社の基本情報<運用方法>の「適格組織再編成」欄を削除し、「帳簿記載等差額等の外書」欄を追加しました。「帳簿記載等差額等の外書」欄を「あり」にすると、資産登録・変更画面で<取得価額><期首帳簿価額><期首償却過不足額><取得価額とみなす額>の各項目名がボタンに変わり、別表十六に外書する金額を設定できるようになります。（※個人の場合は「なし」固定）

●りんご樹の耐用年数の変更対応

りんご樹の耐用年数を27年から、わい化りんごを20年、その他を29年に改正されました。

3. その他の対応内容

●タブメニューの追加

法人税顧問等と同様に、会社選択後の処理画面に、タブメニューを用意しました。

●会社一覧表印刷機能の追加

会社選択・登録画面に<一覧印刷>ボタンを追加し、会社一覧表を印刷できるように対応しました。

●一括償却資産に関する対応

一括償却資産の端数を4年目に繰り越さないための確認メッセージを表示するように対応しました。4年目以降の期首損金未算入額が残っている場合、個人の減価償却費計算書にその年度の行も出力するように対応します。また一括償却資産調整画面において、期中設立の個人の場合、当期の月数は必ず「12ヶ月」で表示されるように対応しました。

一括償却資産台帳の出力条件設定画面に「期中取得資産の期首損金未算入額への算入」の設定項目(含める/含めない)を追加しました。

資産変更画面で一括償却資産の事業供用年月日に翌期以降の日付も入力できるように対応しました。

●少額減価償却資産に関する対応

少額減価償却資産集計用勘定の設定場所を、別表十六(一)(二)または減価償却費計算書の出力条件設定画面から、[導入]メニューの「勘定設定」に移動しました。

固定資産台帳の出力条件設定画面に「少額資産を含める/少額資産のみ出力/少額資産を含めない」の選択ができるように対応しました。

別表十六の出力において、少額資産の明細がない(備考欄のみ)場合でも出力するようにしました。

また、減価償却費計算書で「必要経費算入額」を0円で設定しても少額減価償却資産行を印刷できるように対応しました。

●耐用年数を出力順の条件に含めない設定の対応(別表十六(一)(二)(五)、減価償却費計算書)

●税務署用紙欄外に記載されている合計出力形式に対応(別表十六(一)(二))

出力条件設定画面の〔出力形式〕に「合計書 2」を追加しました。これに伴い、従来の「合計書」は「合計書 1」となります。

●定額法計(リース定額法計)列の出力判定の見直し(別表十六(一))

●減価償却費計算書の出力の見直し

摘要欄に資産変更画面で入力した摘要の出力対応

ヘッダーの年表示の変更(「平成 年度分」→「平成 年分」)

●設置場所未設定時の資産登録に対応〔スタンドアロン版のみ〕

●資産一括変更の対象項目に前年度地区を追加

●償却資産申告書、種類別明細書出力対象の見直し

固定資産税用期末日以後の移動があった場合、申告書上では移動反映させないように対応しました。

●出力項目設定での変更内容

出力項目設定の内容を初期値に戻せるように対応しました。

出力項目設定画面の「明細書の出力対象」欄の設定は、合計出力の場合にも反映するように対応するため、名称を「明細書の出力対象」から「出力対象資産」に変更しました。

●翌期更新に関する対応内容

決算用期間と固定資産税用期間をそれぞれ別に翌期更新できるように、翌期更新画面に決算用と固定資産税用の「更新する」チェックボックスを追加しました。

Ver.6.0の翌期更新では、月次償却処理対応や、減損会計への対応に伴い、Ver.5.1よりも処理に時間がかかるため、更新処理中は、進行状況(翌期データ作成中のパーセントと翌期データ計算中の件数)を示す、インジケータを表示するように対応しました。

●会社データのバックアップに関する対応内容

会社データのバックアップ画面で共通データバックアップも行えるように対応しました。

●エプソン文書ファイリングソフト「Document Storage(ドキュメントストレージ)」に対応

Document Storageに関してのお問合せはTEL:0570-000-017または下記ホームページへ(<http://www.i-love-epson.co.jp/products/dms/>)

- 一社同時入力処理中のメッセージ表示〔ネットワーク版のみ〕
- 共通会社基本情報から取込時のメッセージ変更〔ネットワーク版のみ〕

4. プロダクトIDについて

プログラムのセットアップ(インストール)時にプロダクトIDを入力していただきます。プロダクトIDは製品固有の24桁の数字で、同一のプロダクトIDは存在しません。1つの製品を複数のコンピュータにセットアップされた場合、2台目以降では、別のプロダクトIDを入力されるまでプログラムの起動ができなくなります。

プロダクトIDが記載されたラベルは、CD-ROMのケース(ライセンス商品の場合はライセンス使用許諾証またはプロダクトIDのご案内ハガキ)に貼られます。

詳細は改版商品に同梱のご案内(手順書)をご参照ください。

ライセンス商品のご案内

「応援シリーズ」で、同一プログラム(スタンドアロン版)を複数本使用される場合、2本目以降を割安価格でお求めいただけるライセンス商品(及び年間プログラム保守契約)をご用意しています。

■ライセンス商品はこんなときに最適です。

- ①企業又は会計事務所内において、複数台のパソコンで使用する場合
- ②本社以外の出先拠点(支社、営業所等)において使用する場合
- ③会計事務所において、在宅処理や外出先処理(モバイル用途)等の所外で使用する場合
- ④学校等の教育用途として使用する場合

ライセンス商品に関しましては登録センター(TEL:03-5321-4249)へお問い合わせください。

【著作権・使用許諾契約について】プログラムを使用するには、著作権法及び使用権許諾契約により、1台のコンピュータにつき1ライセンスの使用許諾が必要です。

5. 動作環境

使用環境	スタンドアロン	ネットワーク版	
		クライアント	サーバ
OS	Windows®XP/2000/Me/98 (*1)	Windows®2000Server Windows®Server2003 (*1)	
メモリ	64MB 以上 (128MB 以上推奨) ※XP/2000 の場合 128MB (256MB 以上推奨)	256MB 以上	
CPU	お使いのOSが推奨する環境以上 (Pentium®Ⅲ500MHz 以上推奨)		
ディスプレイ	解像度:1024×768 ドット(小さいフォント)以上 ※Windows®XP の場合は標準フォントサイズかつ96DPI 表示色:high Color(16Bit)以上		
HDD	45MB 以上	48MB 以上	10MB 以上
データ容量	登録数×2.0MB(*2)	-----	登録数×2.0MB(*2)
最大用紙サイズ	B4		
プリンタ	上記の対応 OS で使用可能なレーザープリンタ		

(*1) : Windows® Server 2003は、サーバ用として使用する場合のみ動作保証します。クライアント、スタンドアロン版用として使用することはできません。また、クライアントは Windows®XP/2000 Professional をご使用下さい。

(*2) : 約1会社100資産の容量です。

【Windows ®95でご利用のお客様へ】

Windows®95はマイクロソフト社のサポート終了に伴い、弊社におきましても動作保証の対象外とさせていただきます。この度、Windows95マシンにセットアップされるとエラーが出ることを確認されましたので、上記対象OSでお使いいただきますようお願いいたします。